

報道関係者各位

元AV監督・編集者・国立能楽堂一期生の鬼才・市原克也が
中高年・シニア層向け出版社「中高年出版」が連続リリース

第1弾『**中高年の恋愛論**』に続き
第2弾『**中高年の失恋論**』を12月1日に発売



中高年世代の恋愛や失恋をテーマにした新刊『中高年の失恋論』が発売された。著者は64歳のAV監督で編集者の市原克也氏。福祉や社会学の観点からも注目される本書は、人生の後半戦における恋愛の意味を問い直す一冊として、多くの中高年に響く内容となっている。

中高年の恋愛には、「ときめき」以上に「喪失と向き合う力」が求められる。

中高年の恋愛は、ときめきよりも「喪失への向き合い方」が問われる。恋愛に限らず、仕事・人間関係・健康・性・時間など、人生のあらゆる喪失に伴う心の動きを鋭く描く一冊。「喪失」は、恋愛や失恋だけに留まらず、死別・ペットロス・子離れ・友人関係の変化・健康や体力の衰え・仕事上の喪失など、幅広い領域に及び、身体や時間、存在の共有といった「つながりの喪失」の痛みを丁寧に紐解き、別れや変化の余韻を人生の名場面として読み解く。

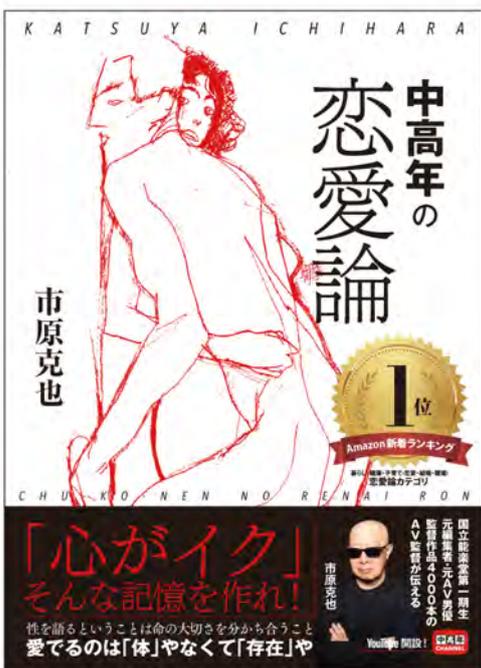
読者は本書を通じて、「失う怖さ」を成熟した愛と自己信頼に変える方法を学ぶことができる。

YouTubeでのシニア関連ワード検索では「恋愛」が圧倒的で、約57万件の検索結果が確認されており、シニア世代の恋愛関心の高さが数字でも示されている。中高年の愛や性愛、ほめ、再生の物語、つまり「希望の設計図」を読者に提供するものだ。日常の片隅でひとり作戦会議をするように、この本を手に取り、自分の物語を再び信じるきっかけにしてほしい。



本書は、失恋を悲劇として終わらせず、感謝と敬意をもって再解釈することを提案する。

書中では、中年以降の失恋についてこう綴られている。「中年以降の失恋は、若い頃のそれとはまったく違う。あの頃なら泣き崩れた痛みも、歳を重ねると『この痛みの向こうに、何かが始まるのでは』と静かに遠くを見つめるようになる。」



検索したキーワードまたはフレーズに関連するキーワード

関連キーワード	検索ボリューム	順位
シニア恋愛	590,024	74
健康	148,994	64
シニアの恋愛	13,370	60
未亡人	10,660	60
シニア健康	8,401	61

近年、シニア婚活が流行しシニア層がパートナーを求める傾向が高まっている。YouTube検索データでも「シニア」『恋愛』は、57万件で1位。シニア世代の関心の高さが示されている。
(2025.11.11「VIDIQ」より)

書名：『中高年の失恋論』
著者：市原克也 (AV監督・編集者)
発行：中高年出版
発売日：2025年12月1日

Kindle 880円 ペーパーバック 1,980円 (税込)

著者プロフィールと人生の歩み



市原克也

1961年、兵庫県芦屋市生。筑波大学中退後、上智大学文学部を卒業。舞台経験や雑誌編集者としてのキャリアを経て、27歳でAV男優としてデビュー。代々木忠監督の長寿AVシリーズ160本以上に出演し監督としての作品も多い。コラムニスト・執筆家として競馬本など著書多数。東スポ「トリガミ哀歌」毎週金曜日連載中。

本件に関するお問合せ (担当: 濱中)
middleage.ch@gmail.com



こちらのQRコードより書籍の詳細確認ができます